

⑨ 体積測定用器具

1 種類

メスシリンドー、メートルグラスなどありますが、メスシリンドーがよいと思います。また材質はガラス、プラスチック製などあります。

容量はどの位のがあればよいのかは、実験にあたって考えますが、小学校の場合 20cm^3 以下は直径が小さく、目盛も細かすぎて使いにくいのではないでしょか。やはり、 50cm^3 、 100cm^3 を中心にして準備したほうがよいようです。また教師用として 500cm^3 を購入しておくと試薬を作る時など便利です。

1 目盛の体積と検定公差は、表-6 のようになっています。

種類	10	20	50	100	200	500	1,000
1 目盛の体積	0.1	0.2	0.5	1	2	5	10
検定公差	全量の $\frac{1}{50}$	全量の $\frac{1}{100}$	全量の $\frac{1}{200}$				

表-6 メスシリンドーの1目盛の体積と検定公差

検定合格品には図-51のようなマークが付いておりますから確かめて購入するようにします。



図-51
検定証印

2 使用法

目盛の読み方は水平な台上に置いて図-52のように水際(メニスカスという)の水平方向から読みとります。なれないと割合むずかしいので、目盛線を全周に

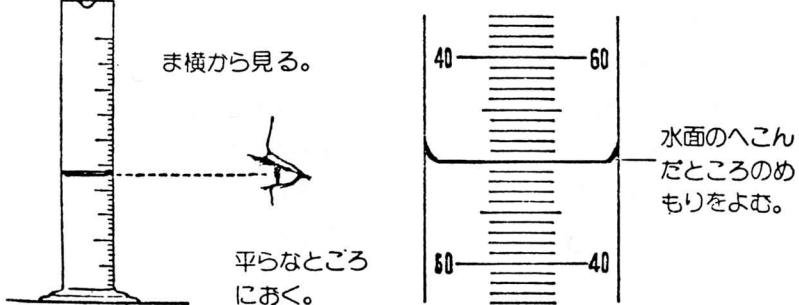


図-52 メスシリンドーの目盛の読みかた